

月曜日のマナ 2020.3.2

学ぶ姿勢：計り知れない美德

私の CEO 仲間のトムには将来有望な部下がいましたが、それは苦戦を強いられている経営陣の一人でした。彼に備わっている可能性を全うできるぐらいまで彼が成長するには明らかに足りないものがありました。問題の一つはこの部下は人に任せることを嫌がるということでした。彼はトムが個人としてそしてプロとしての成長に不可欠だと考えている資質に欠けていました。それが学ぶ姿勢でした。

頭が良く、いつかチームにとって価値ある一員になりうる能力がありながら、彼が指示されたり、訂正されることに対して反抗的であることは彼の成長の大きな妨げになっていました。トムはリーダーが変化や改善などの提案に対してよりオープンにならなければ、彼に対しての支援やサポートを台無しにしてしまうだろうということを知っていました。

トムは、この若い部下を手放したくなかったため、この問題について個人的に話し合うことにしました。トムは彼に学ぶ姿勢が必要があると説明し、そうでないとしたら、別の選択肢を考慮しなければならないとも伝えました。

幸運にも、このリーダーは謙虚にトムの助言を受け入れ、彼は瞬く間に成長し、組織の業績も向上しました。このことは彼にとって会社にとってもよい結果をもたらしました。もし彼が変わることを拒んでいたとしたら、お互いに不利益になったでしょう。

聖書でも繰り返し学ぶ姿勢の重要性が強調されています。いくつか例を見てみましょう。

学ぶ姿勢は繁栄を与えます。「私たちの誰も私たち全員と同じぐらい賢いわけではありません」ということわざがあります。私たちは誰の助けも受けずに単独で成功できると信じているかもしれませんが、でも実際には大抵いつも失敗します。反対に他の人の知恵や見識に頼ることが成功につながります。

「何事にも目覚めている人は恵みを得る。主に依り頼むことが彼の幸い。」箴言 16:20。「相談しなければどんな計画も挫折する。参議が多ければ実現する。」箴言 15:22。

学ぶ姿勢は知恵への道です。ある青年になぜ指導者が欲しいのかと聞くと、彼は「その人の失敗から学びたいからです」と答えました。なぜなら年齢以上の識別力を身に着けるには、自分ですべての過ちを犯す必要はなく、他の人の失敗から学ぶこともできるというこ

とに彼は気づいたからです。知恵とは経験から生まれるものであり、経験とは失敗を通して修正と改善を行うという事です。

「勧めに聞き従い、諭しを受け入れよ。将来、知恵を得ることのできるように。」箴言 19:20。

学ぶ姿勢は最善の情報を受けることです。

世界は知識であふれています。どんなテーマでも何百、何千もの書籍があり、テレビやラジオ、新聞、雑誌などのメディアを通して絶え間なく情報が流れてきます。インターネットはあなたの指先で図書館として、実質的にすべてのことに関するコンテンツの宝庫として機能しています。私たちの時間は限られていますので、どの情報を取り入れるかは教わるという姿勢だけでなくそこから何を学ぶかという事に影響を及ぼします。聖書を参照してみましょう。使徒パウロはこのように述べています。

「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです。」第二テモテ 3:16-17。

学ぶ姿勢はビジネスリーダーとして求められる資質なのです。

もっと深めるために：

1. あなたは学ぶ姿勢を持ち合わせていますか？
2. 学ぶ姿勢を持ち合わせていないことの影響は何でしょうか？今まで学ぶ姿勢を持ち合わせていない人に出会ったことがありますか？それはどのような経験でしたか？
3. 学ぶ姿勢を身に着けるためにどのようなステップを踏む必要がありますか？謙虚であることは学ぶ姿勢を持続させるためにどう役立つと思いますか？
4. 今回の「月曜日のマナ」での提案は聖書を重要な情報源とすることです。特にマーケットプレイスにおいて、この提案に賛成ですか？どうしてですか？

参考聖書箇所リストです。参照ください：

箴言 12:15・箴言 19:27・箴言 20:18・箴言 24:5-6・箴言 27:17・エペソ 2:10・コロサイ 1:28

この発行はリック・ボックスによって書かれました。月曜日のマナ®は CBMC より毎週発行しているメールマガジンであり「ビジネスとマーケットプレイスをキリストに」の世界的働きで、利益を求める活動では無く、超教派で、1930年に創立され、各業界で働いている従業員、又、経営者ハイエス・キリストを宣べ伝える事を目的としています。